

令和 8 年 4 月 2 3 日
林 野 庁
近畿中国森林管理局
山口森林管理事務所

令和 8 年度近畿中国森林管理局山口森林管理事務所 重点取組事項の公表について

近畿中国森林管理局は、石川県から山口県までの 2 府 12 県に所在する国有林を管理経営し、その有する組織・技術・資源を活かし、治山・災害復旧対策の推進、市町村等民有林への技術支援、「新しい林業」への挑戦、ICT 技術の導入や他機関と連携した業務の推進に積極的に取り組むこととしています。

このたび、近畿中国森林管理局重点取組事項の公表に合わせ、令和 8 年度山口森林管理事務所重点取組事項を取りまとめましたので、公表します。

【問い合わせ先】



林野庁近畿中国森林管理局
山口森林管理事務所
担当者：調整官、総括事務管理官
電話：050-3160-6155
メール：kc_yamaguchi@maff.go.jp



令和8年度 山口森林管理事務所 重点取組事項



滑マツ



三本杉



錦帯橋と城山国有林

林野庁

近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所

令和8年度 山口森林管理事務所重点取組事項について

目次

- 1 森林・林業施策推進への貢献 P 1
- 2 公益重視の管理経営 P 5
- 3 民国連携及び民有林支援 P 9



- 再造林・保育までの収支のプラス転換を図る「新しい林業」の実現に向け、これまでの取組成果（下刈回数の削減、通年下刈り、防護柵への低コスト資材の活用）を民有林関係者へ発信します。
- 造林作業の一層の低コスト化・省力化を目指し、引き続き、現場実証に取り組めます。

下刈りの省力(通年下刈り)

県産コンテナ苗(特定苗木)を活用した低コスト造林を推進

山口県産の品質の安定したコンテナ苗を積極的に活用することで、植付作業の低コスト化に取り組めます。



コンテナ苗



専用器具により植付時間を短縮

下刈り時期の弾力化等に取り組んでいます

再造林後の下刈りは、低コスト、労力の観点から最大の課題となっているため、通年下刈りによる省力化・回数の削減に取り組めます。



通年下刈りの導入





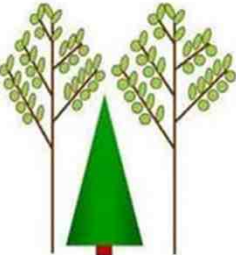
通年下刈り実施箇所

下刈りの省力・削減の取組

下刈りの省力化

再造林後の下刈りは、低コスト、労力の観点から最大の課題となっているため、通年下刈りによる省力化や実施回数の削減に取り組めます。具体的には、画一的な下刈りを実施するのではなく、植栽木と雑草木の競合状態を見極めながら下刈りを省略するなど、下刈りの要否をC区分により適切に判断するなどして、下刈り回数をトータルで3回以下に削減することを目標に取り組めます。

下刈りの目安図：C区分判定

C1	C2	C3
		
樹冠の梢端が雑草木から露出 【下刈省略】	樹冠の梢端と雑草木の高さが同じ 【下刈省略を検討】	樹冠が雑草木に埋もれている 【下刈を実施】

その他の取組

苗木の植栽本数については、ha当たり2,000本を目安としていますが、今後さらに本数を減らすことについても検討を進めていきます。

伐採と造林の一貫作業システムの推進

一貫作業システムによるコスト効果の推進

一貫作業システムとは、素材生産と造林の契約を1つの契約として発注することです。植栽時期を選ばないコンテナ苗の特性を活かし、素材生産と造林作業の一括発注によって伐採直後に植栽を行うことにより、下刈り日数の削減や作業効率の向上、地拵等の経費削減などを推進します。



架線集材による搬出



高性能林業機械を使った採材作業



コンテナ苗をドローンで効率的に運搬



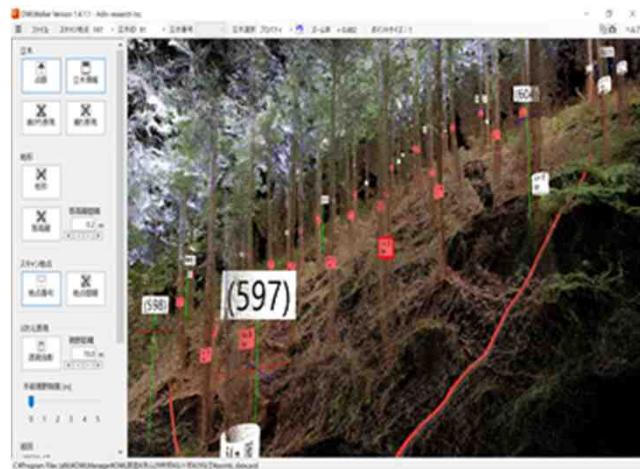
専用の器具を使ったコンテナ苗の植栽

一貫作業による作業の流れ

収穫調査の効率化・省力化



3次元レーザスキャナの使用状況

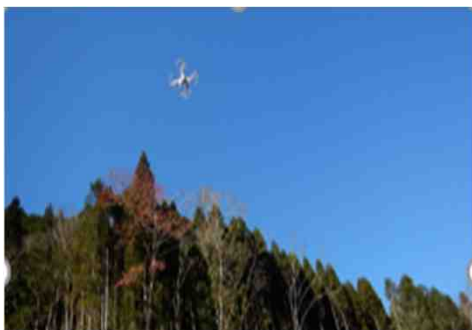


3次元解析画像

3次元レーザスキャナを活用した森林調査の実演など、ICTを用いた効率的な森林計測方法について、職員が講師となる説明会等を開催し、県市町職員等に対して技術の普及に向け取り組んでいきます。

ドローンの活用

ドローンの活用は、森林調査の効率化、森林資源情報の精度向上が期待されます。



ドローンによる撮影



ドローン空撮からオルソ画像を作成



ドローンによる治山事業地調査



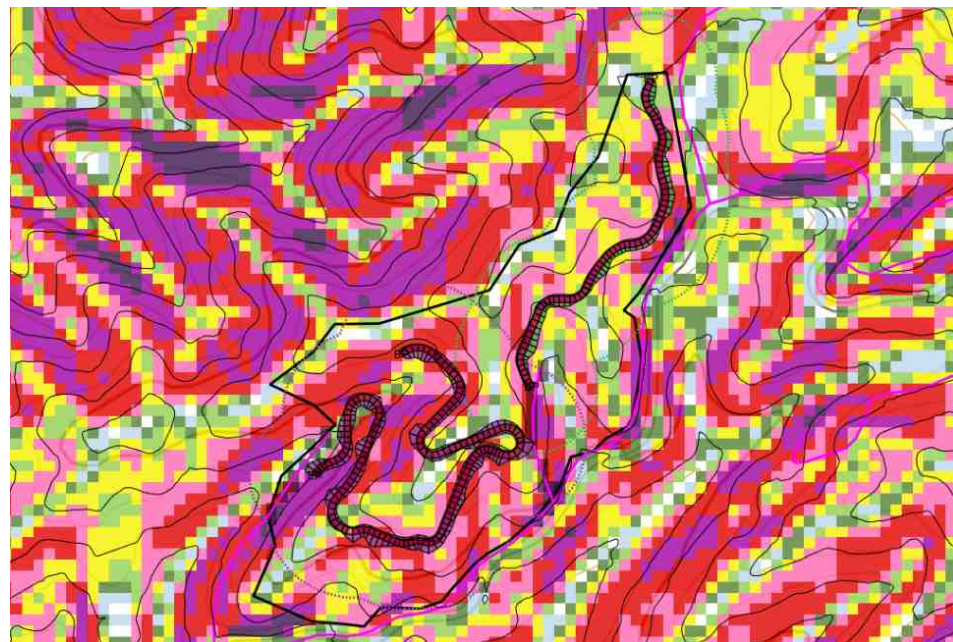
ドローンによる列状間伐実施箇所確認



ドローンによる林況調査

路網設計支援ソフト（FRD）の活用

効率的な路網の作成等



〔FRD路網設計支援ソフト〕

従来の路網の設計は、図面等紙の上でルート設計等を検討するのが一般的で、経験によるものが大きく、現地確認や検証に多大な労力を費やします。しかし、FRD路網設計ソフトは設計者が設定した条件を満たす線形案を自動で設計することが可能で、コスト削減や安全な道づくりを支援する機能を多く備えています。



森林作業道

- 地域の特性に応じて、捕獲や生息状況・行動把握調査、被害防除(防護柵の設置等)等の有効な手段を組み合わせた鳥獣被害対策を総合的に推進します。
- 地方公共団体や猟友会と協定等を締結し、猟友会等が国有林内でシカ捕獲を行うための罾の貸出し等の捕獲協力に引き続き取り組みます。

シカ被害対策推進協定による取組



長門市地域におけるシカ被害対策及びジビエ活用推進協定

県西部地域には、シカ被害が多発しています。シカ被害を防ぐ方法として、単木保護管やシカ用侵入防止ネットにより食害を防ぐ対策がありますが、シカの生息数を適正な密度まで減らすには、地域が一体となって捕獲を進めることが重要です。

美祢市と下関市、長門市地域において、シカ被害対策推進協定を締結し、罾を無償で貸出すことにより、シカの捕獲を行い、シカ被害撲滅に向けた取り組みを行っています。

ノウサギ被害対策



防護ネットによるノウサギ防護



単木保護管



ノウサギの食害

山口森林管理事務所ではシカ被害に比べ、ノウサギによる食害が多く発生しています。単木保護管やウサギ用侵入防護ネットにより食害を防ぐ対策を行っています。

防護ネットを設置する際、支柱の一部に立木を利用することにより、低コスト化も行っています。

- 豪雨や地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、第1次国土強靱化実施中期計画に基づき治山事業・森林整備事業を着実に実施し、防災・減災の取組を進めます。

復旧治山工事の実施

平成30年の集中豪雨により古屋国有林で発生した山腹崩壊や、令和3年に発生した城山国有林の山腹崩壊の復旧など、優先度の高い地域から斜面安定対策を進め、地域の安全・安心を確保しつつ、災害に強い森林再生に取り組みます。



山腹被害状況（古屋国有林） 山腹工（令和4年度実行箇所） 山腹工（令和5年度実行箇所）

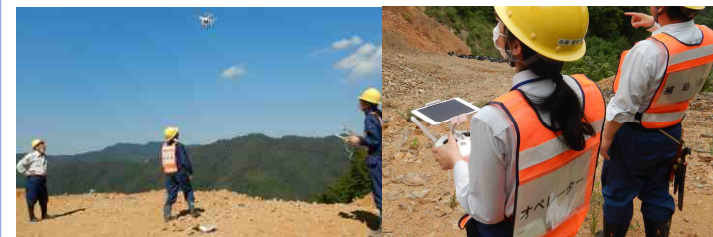


溪流荒廃状況（城山国有林）

谷止工（令和6年度完成）

森林土木工事におけるICT化の推進

ドローンによる空中写真により、数値標高モデル、オルソ画像、工事図面を作成。監督職員と受注者がウェアラブルカメラを活用した遠隔臨場、情報共有システムの導入による効率的な事業を推進します。



発注者（事務所）

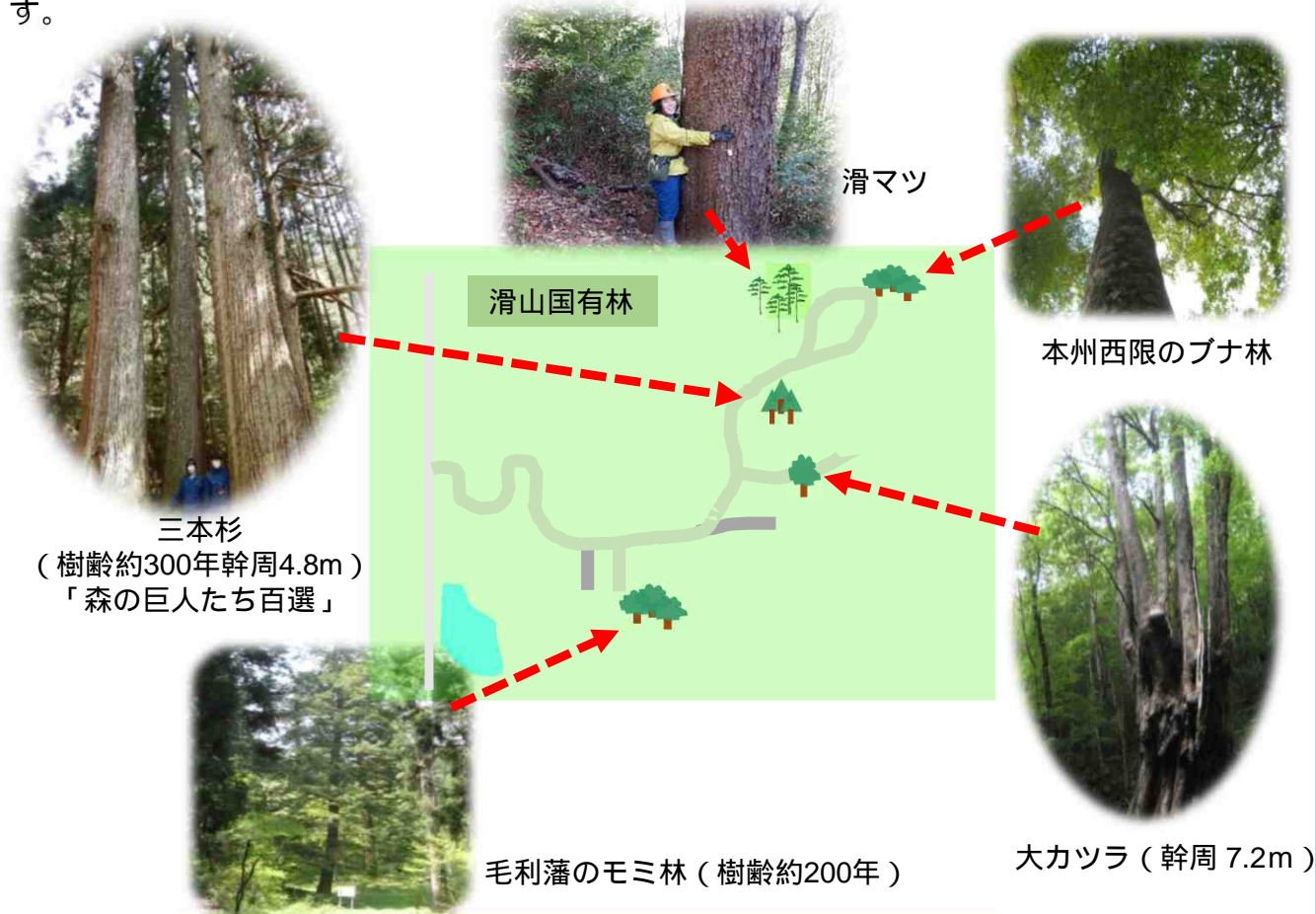
受注者（現場）



- 国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、林産物の供給等の森林の有する多面的機能の発揮に向けて、多様な森林づくりを推進します。

保護林等の優れた自然環境を有する滑山(ナヤマ)国有林

山口市徳地地域は、平安～鎌倉時代に行われた奈良東大寺の再建用材を伐り出した場所と言われ、この地域にある滑山国有林では、今日でも「滑マツ」をはじめ多くの巨樹・巨木を見ることができます。中でもブナは本州における分布の西限となっていて、ブナ林としては珍しいアカマツとの混生林も見られます。また、モミの人工林も全国的に珍しく、かつて毛利藩が山中に自生していた稚樹を集めて造林したものと伝えられています。



カシノナガキクイムシ対策

カシノナガキクイムシとは、コウチュウ目・ナガキクイムシ科の昆虫でコナラ等に被害を与える害虫です。穿孔された樹木は急速に衰え、夏場でも葉が真っ赤に枯れ、景観上問題となります。ナラ枯れ被害木を伐倒後ビニールで被覆し、粘着シートで捕獲することにより、樹木内のカシノナガキクイムシを駆除し、生息密度を減らす取り組みを行います。



被害木に捕獲シートを巻き付け駆除



伐倒後ビニールで被覆し粘着シートで捕獲

- 国産材の需要の拡大、加工・流通の合理化等に取り組む木材需要者（製材工場等）と協定を締結し、木材を安定供給する「安定供給システム販売」に取り組みます。

林産物の安定供給・利用 木材の安定供給の推進

地域における国産材の安定供給体制の整備に資するため、地域の木材価格や需給動向を把握しながら、地域への木材の安定的持続的供給に取り組めます。

令和8年度は、滑山国有林（主伐）4.92ha 2,330m³
大葉山国有林（間伐）15.75ha 1,400m³ 合計3,730m³を生産します。

令和8年度 請負事業における出材予定

箇所	面積 (ha)	種別	施業	材積 (m ³)
滑山	4.92	製品資材	主伐	2,330
			内訳（委託販売）	550
			〃（システム販売）	1,780
小計			主伐計	2,330
大葉山	15.75	製品資材	間伐	1,400
			内訳（委託販売）	120
			〃（システム販売）	1,280
小計			間伐計	1,400
計	20.67			3,730



架線集材作業



トラック積込作業

伝統文化の継承活用（檜皮採取）



専用のヘラにより檜皮を採取（城山国有林）

（社）全国社寺等屋根工事技術保存会と森林管理局が締結している協定に基づき、城山国有林の高齢級ヒノキ林から檜皮が採取されています。檜皮は神社・仏閣等の屋根の葺き替えの材料で、文化財等の資材の供給に取り組めます。

花粉症対策に向けた取組（少花粉スギ）



雄花をほとんどつけない花粉の少ないスギの植栽に取り組めます。

山口県産の少花粉スギ

木材利用の推進

「農林水産省木材利用推進計画」等を踏まえ、積極的な木材利用の推進に取り組めます。



谷止工（残存型枠）（令和6年度完成）

- 原始的な天然林や希少野生生物が生育・生息する森林等を「保護林」として設定し、モニタリング調査等を通じ適切な保護・管理を進めます。

保護林等の優れた自然環境を有する国有林の管理経営

滑マツの保全・再生・育成

地元の自治体や森林組合、ボランティア団体等をメンバーとする「滑(ナリ)マツ保存会」を平成26年3月に設立し、貴重な「滑マツ」の保全のため各種の検討会や現地調査等を継続して実施するなど、地域と協働した保全活動に取り組みます。また、「滑マツ」の保全・再生及び後継樹育成のため稚樹周囲の刈払い、マツクイムシ被害を予防するための薬剤注入等を実施しています。



滑山アカマツ・ブナ・コナラ等遺伝資源希少個体群保護林



薬剤注入作業



滑マツ保存会による現地視察



稚樹周囲の刈払い、樹高測定

- 国有林のフィールド・技術・組織を活かし、現地検討会の開催等を通じて、民有林関係者への技術的支援、人材育成への支援を行います。

現地検討会 開催情報、わかりやすい情報提供

民有林関係者等を対象とした技術普及のため、現地検討会・情報交換会等の開催に取り組みます。令和7年度は「省力化・低コスト化林業」をテーマに開催しました。令和8年度は、「列状間伐による生産性向上と効果」について予定しています。



令和7年度省力化・低コスト化林業の現地検討会



市町支援メニュー等に基づく支援

岩国自然休養林

日本美しい森お薦め国有林に選定されている城山国有林では歩道沿いの危険木伐採など、安全に歩行できるよう環境を整えています。



城山国有林

市町支援

職員が講師となり、市町職員等に対して林業技術の普及に向け取り組んでいきます。



市町支援（列状間伐研修）

学校等への支援

人材確保に向けた取組

森林・林業を学ぶ高校生を対象とした出前講座や、大学での業界・企業研究会において、林野庁の業務紹介等の取り組みを行います。



県立農業高校での出前講座



小学校での出前講座

森林環境教育の推進

国有林のPR

国有林に対する理解促進及び木の良さや森林の働きなどを分かり易く伝えるため、地域と連携した各種イベントで国有林のPR等に取り組めます。



国有林のPRを兼ねたイベント参加



主要事業量内訳

区分	項目	単位	令和8年度主要事業量 (年度当初予定)
収穫	主伐	千m ³	58.9
	間伐	千m ³	39.4
販売	立木販売	千m ³	91.6
	製品販売	千m ³	3.7
造林	地拵え	ha	-
	植付	ha	0.1
	下刈り	ha	16.1
	つる切・除伐	ha	-
	保育間伐 (活用型・存置型)	ha	15.8
	保育間伐 (本数調整伐)	ha	0.1
林道	林道新設	m	130.0
	改良	m	-
治山	国有林直轄治山	百万円	72.4
	民有林直轄治山	百万円	-

事業量(年度当初予定)には、前年度の繰越事業量を含みます。

収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量を含みます。

林道には、林業専用道を含みます。

治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。

単位未満の四捨五入により、計と内訳が一致しない場合があります。

【問い合わせ先】

近畿中国森林管理局 〒753-0094
山口森林管理事務所 山口県山口市野田35-1

TEL 083-922-0386
IP 050-3160-6155

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/yamaguchi/index.html>